

かたらんね〜

須恵町のスポーツ団体・文化団体を紹介します。みなさんも一緒にやってみませんか？

第7回 空手部（日本空手協会須恵支部）

日本の誇る伝統的な武道としての空手道は、今や世界的な規模において隆盛の一途をたどっています。

活動状況は

古賀慶三先生を中心に、子どもから大人まで約10名で活動しています。練習は、水曜日の18時30分から20時30分、土曜日の18時から21時まで、それぞれ町立武道場で行っています。県大会や須恵町少年武道大会の他に県実業団大会などがあり、基本、形、組手の練習を日々頑張っています。

帯の色は、白、緑、紫、茶、黒の5種類で、年に3回の昇級審査があります。

空手道五条訓

- 一、人格完成に努めること
- 一、真の道を守ること
- 一、努力の精神を養うこと
- 一、礼儀を重んずること
- 一、血気の勇を戒めること

武道は礼に始まり礼で終わる

空手道の正しい教えを守り、一生懸命稽古に励み、心と体を鍛え、何事にも負けない精神力を養うために努力することを誓い、日々の練習に打ち込んでいます、と語っていただきました。



日本空手協会7段
A級指導員
古賀 慶三さん



編集後記

伝統と未来

須恵町のウナギが人気だとか。最初聞いたときは、はてと思ったものの、ふるさと納税の返礼品で全国トップクラスに躍り出ている様子（ウナギだけじゃないよ）。12月定例会の補正により総額5億円の予算となった。使途は、主に教育・医療。額面と言うとケタ違いの自治体はあるものの、須恵町の伸びは著しい。担当課の努力を素直に称えた。

江戸時代は眼科目薬の医療の町（合併前だけ）。そして焼き物の町。近代は炭鉱の町。その後、健康の町づくりは今に続く。わが町の先人は、自身と時代をみつめ、その時を懸命に生きてきたのだなとしみじみ思う。

その意味で、今はふるさと納税を精一杯やるのも結構なことだ。いずれ次の世代に託す須恵町を、素晴らしい町に磨き上げて渡すためにも。

田ノ上真

発行責任者

議長：松山 力弥

広報特別委員会

委員長：田ノ上 真
副委員長：今村 桂子
委員：三角 栄重
委員：稲永 辰己